



# 南アルプスカーボンクレジット

～大井川源流域の山林経営～

# 井川山林の前提条件

- ・総面積24,450ha
- ・天然生林17,389ha(全体の70%)
- ・静岡市最北端(奥地・急峻)
- ・流域上流・国立公園・保安林

木材収益中心の経営は  
難しい構造

# 経営上の課題

- ・収益は限定的
- ・管理責任は継続
- ・長期的な維持負担

別の収益軸が必要

# 制度の活用

- ・年間認証量：約1,410t-CO<sub>2</sub>
- ・南アルプス源流域の天然生林
- ・J-クレジット制度を活用

## 井川山林の吸収価値を 経済的に扱う仕組み

# 判断の整理

- ・費用対効果を精査
- ・単独で判断しない
- ・静銀経営コンサルタント株式会社様と前提整理

## 続けられるかを基に判断

# 収益の再投資と実証

- ・スギ・ヒノキ人工林の0.3haを間伐
- ・近自然林への誘導を開始
- ・ネーミングライツ・クラファン植樹を予定

小規模で検証し、  
拡張可否を判断

# 近自然林への誘導の意図

- ・スギ・ヒノキ人工林0.3haを間伐
- ・樹種多様性の回復を試行
- ・小規模で実証開始

## 流域機能の多様化を検証

# 現在の立ち位置

- ・外販を実施
- ・井川蒸溜所の重油ボイラー排出をクレジットで相殺
- ・電力は静岡Greenでんきを利用

## 創出と活用を併せて運用

まとめ

山林経営の延長線上にある  
制度活用の一例



ご清聴ありがとうございました